

2024年度 北見藤高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔数学〕【数学C】	3年	2単位	教科書	数研出版 「最新数学C」	副教材等	数研出版 「4プロセス数学IIIC」	履修対象・ 使用教室等	3年エクセレンスコース
教科・ 科目 の 目標	(1) ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 (2) 数学的な表現の工夫について認識を深め, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる								
評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学的な表現の工夫について認識を深め, 事象を数学化したリ, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し, 演算法則やその図形的な意味を考察する力, 図形や図形の構造に着目し, それらの性質を統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。			数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとめごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い, [A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況]とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて, 学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評価」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等	予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	授業内での取り組み、姿勢				○	○	○		
	課題レポート	回数は随時、演習問題及び入試問題に対する課題レポート			○	○	○		
		〔観点別配分%〕			〔3観点の比重を%で示しています〕				
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名	配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎〕	
4 5	平面ベクトル ・ベクトルの内積 ・位置ベクトル ・ベクトル方程式 空間ベクトル ・内積 ・位置ベクトル ・空間図形への応用		・ベクトルの基本的な概念について理解し, その有用性を認識するとともに, 事象の考察に活用できるようにする。 ・位置ベクトルの基本的な概念について理解し, その有用性を認識するとともに, 事象の考察に活用できるようにする。 ・ベクトルの基本的な概念について理解し, その有用性を認識するとともに, 事象の考察に活用できるようにする。			授業内での取り組み、姿勢	○	○	○
						課題レポート	○	○	○
6	複素数平面 ・複素数の和と差 ・複素数の極形式 ・ド・モアールの定理 ・複素数と平面図形 ・複素数平面上の点の軌跡		・複素数平面について理解し, それらを事象の考察に活用できるようにする。			授業内での取り組み、姿勢	○	○	○
						課題レポート	○	○	○
7	式と曲線 ・放物線 ・楕円 ・双曲線 ・2次曲線の平行移動 ・曲線の媒介変数表示 ・極座標と極方程式		・2次曲線について理解し, それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・平面上の曲線がいろいろな式で表されることについて理解し, それらを事象の考察に活用できるようにする。			授業内での取り組み、姿勢	○	○	○
						課題レポート	○	○	○
8月以降	入試問題演習		入試問題へ対応する応力を養う。			授業内での取り組み、姿勢	○	○	○
						課題レポート	○	○	○
学習の アドバイス	・教科書を中心に, 内容の説明, 例題の解説と問題演習を通して基本事項を理解し, 問題解決能力を身につけること。 ・授業で扱った問題については必ず復習し, 理解の定着を図ること。 評価は, (1)授業でのコミュニケーション活動への参加姿勢, (2)課題レポートに対する取り組みの状況, (3)授業への出席状況と取り組みの姿勢をもとに総合的に行います。 各学期の成績を総合し, 基準に到達すれば単位認定します。								